

2013年5月21日

<報道関係各位>

BSA | The Software Alliance

BSA 調査、正規ソフトウェア使用率 1%の増加が 58 億 7 千万 US ドルを国内経済に注入 正規ソフトウェアがもたらす経済的価値は違法ソフトウェア使用時の 4 倍以上

BSA | The Software Alliance (本部: 米国ワシントン DC、以下 BSA) は本日、世界有数のビジネススクール INSEAD が実施したグローバル調査「競争優位性—正規ソフトウェアがもたらす経済効果」(Competitive Advantage: The Economic Impact of Properly Licensed Software) を公開しました。同調査では、違法ソフトウェア使用に比べ、正規ソフトウェア使用がより大きな経済効果を国内にもたらすことが明らかになっています。

同調査によると、日本国内で正規ソフトウェアの使用率が 1% 増加するごとに、推定 76 億 2,700 万 US ドル(約 6,067 億 2,785 万円^{*1}) の経済的価値を生み出す一方、違法ソフトウェア使用時の経済的価値は 17 億 6,000 万 US ドル(約 1,400 億 800 万円^{*1}) にとどまることから、正規ソフトウェアの使用によって新たに 58 億 6,700 万 US ドル(約 4,667 億 1,985 万円^{*1}) の経済的価値が付加されることが分かりました。

「競争優位性—正規ソフトウェアがもたらす経済効果」は、正規ソフトウェアを使用することでの各国経済への有益性を実証するため、アジア太平洋の 15 諸国を含む世界 95 諸国を対象に実施された画期的な調査です。調査結果の分析により、正規ソフトウェア使用率の増加が、国内総生産(GDP) の大幅な上昇につながる事が確認されました。さらに、違法ソフトウェアよりも正規ソフトウェアの使用が、明らかに高い経済効果をもたらす要因となることも実証されました。

BSA 日本担当共同事務局長の松尾早苗は、「正規ソフトウェアを使用することは、事業におけるリスクを低減するとともに、企業の最終利益に関わる業務効率にも直接影響します。今回の調査は、正規ソフトウェアを使用することが企業にとっての利益となるだけでなく、国家の経済成長の推進力となることを証明しています。日本においても政府機関、警察、産業界は、正規ソフトウェア使用がもたらすあらゆる潜在的利益を享受するために、ソフトウェアの違法コピーの削減ならびに正規ソフトウェア使用の推進に努めるべきです」と述べています。

本調査は投資対効果(ROI) の観点からも実施されました。正規ソフトウェアに 1USドル(79.55 円^{*1}) を投資するごとに、推定で 108USドル(約 8,591 円^{*1}) の ROI が上げられる一方で、違法ソフトウェアに 1USドルを投資した場合の ROI は、推定で 94USドル(約 7,477 円^{*1}) にとどまります。

本調査の主な結果

- 正規ソフトウェアの使用率がアジア太平洋地域で 1% 増加した場合、推定 187 億 US ドル(約 1 兆 4,875 億 8,500 万円^{*1}) の経済的価値が地域経済に注入される一方、違法ソフトウェアでは 60 億 US ドル(約 4,773 億円^{*1}) にとどまり、その差額は 12.7 億ドル(約 1,010 億 2,850 万円^{*1}) にのぼる。
- 正規ソフトウェアの使用率が世界で 1% 増加した場合、推定 730 億 US ドル(約 5 兆 8,071 億 5,000 万円^{*1}) の経済的価値が世界経済に注入される一方、違法ソフトウェアでは 200 億 US ドル(約 1 兆 5,910 億円^{*1}) にとどまり、その差額は 530 億ドル(約 4 兆 2,161 億 5,000 万円^{*1}) にのぼる。
- いずれの調査対象諸国においても、違法ソフトウェアと比較して、正規ソフトウェアからより多くの経済効果を得ている。
- US ドル換算において、正規ソフトウェアによる ROI が最も高かったのは発展途上国であり、驚くべきことに各国 GDP に平均 437 ドル(約 34,763 円^{*1}) を加算している。全所得水準レベルの ROI を比較すると、正規ソフトウェアに 1USドルを追加投資した場合、高所得国の ROI は 117USドル(約 9,307 円^{*1})、中所得国では 140USドル(約 11,137 円^{*1}) となっている。

^{*1} 1USドル= 79.55 円(財務省 為替レート: 税関長公示レートの 2012 年平均値を適用)

INSEAD eLab の上席研究員、エドアルド・ロドリゲス-モンテマヨール氏は、「過去に INSEAD が実施した調査では、正規ソフトウェアによってもたらされた付加価値サービスは、企業のコスト削減と生産性向上に役立っていることが解明されています。今回の調査ではさらに一歩踏み込み、ソフトウェア使用が国内生産量に与える影響を解明しています。調査結果によると、正規ソフトウェアは企業と国家経済の両方にとって有益であり、正規ソフトウェアは調査対象国すべての市場において、違法ソフトウェアを使用するよりも、より大きな経済効果をもたらすことを明らかにしています」と述べています。

正規ソフトウェア使用による経済効果を享受したい政府および企業は、以下の分野における対応を検討する必要があります。

- パソコン、モバイル機器、クラウド上で使用されるソフトウェア、その他の著作権が適用される資料等を保護するための厳格かつ現代的な知的財産法の確立
- 専用設備と知的財産権の強化体制
- ソフトウェアの違法コピーに関わる危険性に対する啓発活動
- 正規ソフトウェアの使用およびソフトウェア資産管理(SAM)プログラム導入による実例指導

「競争優位性：正規ソフトウェアがもたらす経済効果」の調査レポート全文は、BSA ウェブサイト (www.bsa.org/softwarevalue) からダウンロードしていただけます。

◆INSEAD eLab について

世界有数かつ最大の大学院・ビジネススクールである INSEAD は、生活や組織変革を目指し、世界中の人々、文化、考え方を一同に介する場を提供しています。eLab は、INSEAD のグローバルな知識経済における中核的研究拠点です。INSEAD eLab の主要目的は、学会、ビジネスリーダー、政策立案者間のつながりを強化することです。この目的達成に向け INSEAD eLab は、多種多様なグローバル資源を活用し、民間および公的機関のリーダーが学究的に厳格かつ適切な研究上の見識を深める機会を提供しています。INSEAD eLab のその他調査報告を含む詳細情報は、こちら (insead.edu/elab) からご覧ください。

◆BSA | The Software Alliance について

BSA | The Software Alliance (BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス) は、世界のソフトウェア産業を代表する業界団体です。世界をリードする BSA 加盟企業は、経済の活性化とより良い現代社会を築くためのソフトウェア・ソリューションの創造に年間数千億円もの投資を行っています。世界各国の政府との意見交換、著作権をはじめとする知的財産権の保護ならびに教育啓発活動を通じて、BSA はデジタル社会の拡大とそれを推進する新たなテクノロジーへの信頼の構築に努めています。詳しくは、日本の BSA ウェブサイト (www.bsa.or.jp)、または、BSA 本部(米国、英語)のウェブサイト (www.bsa.org/?country=US) をご覧ください。

なお、2012 年 10 月 11 日より BSA(ビジネス ソフトウェア アライアンス)は、BSA | The Software Alliance (BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス)に改称いたしました。

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

BSA 日本 PR 事務局 (MSL JAPAN 内) 担当： 土井、西田
TEL: 03-5719-8917 Email: bsa.jp@msljapan.com

【掲載時の読者のお問合せ先】

BSA | ザ・ソフトウェア・アライアンス: www.bsa.or.jp